

「生態系モデルのこれまでとこれから」

生態系モデルの高度化によって、物質循環機能の定量化、各種環境改善対策を講じた場合の効果予測や水域の効果的な管理の提案などができるようになってきました。特に、これからの人口減少や産業構造の変化、さらには地球温暖化を考慮した沿岸域環境の保全・管理を行うためには、モデルは有用なツールであり、その活用が望まれます。

本セミナーでは、生態系モデルに精通している相馬明郎氏、永尾謙太郎氏に沿岸域の総合的 management の観点から、モデルの現状と課題について両氏が行ってきた研究事例の話題提供をしていただきます。その後、沿岸域におけるモデルのこれからと現地観測データとのコラボレーションについて参加者間で意見交換を行います。

ご興味、ご関心をお持ちの方は、是非、ご参加くださいますようお願いいたします。

- テーマ 「生態系モデルのこれまでとこれから」
- 主催 一般社団法人 生態系工学研究会 (RACES)
- 日時 2018年12月15日(土) 14:00 ~ 17:00
- 場所 大阪府立大学 I-site なんば 2F カンファレンスルーム C1
大阪市浪速区敷津東2丁目1番41号 南海なんば第1ビル
- 会費 会員・学生：無料、非会員：1,000円(当日会場にて申し受けます)
- 申込 生態系工学研究会ホームページ (<http://races.jp/>) より登録フォームにてお申し込みください
- お問い合わせ先 生態系工学研究会 事務局 e-mail: office@races.jp
- プログラム

14:00~14:10 開会挨拶 及び 趣旨説明

14:10~15:10 話題提供「伊勢湾の長期的な環境変化と伊勢湾シミュレーターによるアプローチ」
永尾 謙太郎 氏 (いであ株式会社 国土環境研究所)

15:20~16:20 話題提供「生態系の数理モデル化のこれまでとこれから」
相馬 明郎 氏 (大阪市立大学大学院 工学研究科 都市系専攻)

16:25~16:55 意見交換 (質疑応答・討論)

16:55~17:00 閉会挨拶

17:30~ 懇親会 会員, 非会員 : 5,000円程度、学生 : 2,000円程度
(場所未定、金額は予定)



【I-site なんば 会場案内】

- ◆ 南海電鉄「なんば駅(中央出口)」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- ◆ 地下鉄御堂筋線「なんば駅(5号出口)」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- ◆ 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅(1番出口)」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- ◆ 地下鉄堺筋線「恵美須町駅(1-B出口)」下車、西へ約450m、徒歩約7分
- ◆ 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

(ご注意)
建物北側の大阪府立大学専用入口からお入りください。

URL : <http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenamba/about/map/>